

ラットからけし
 財団法人 かがしま産業支援センター
 Kagoshima Industry Support Center

決滴給水生活

水栓コンセント・フラットシリーズ

ランドリーに! ガーデンに! リフォームに! 洗濯スペースに!

DRY ランドリーがドレスアップ!



M 洗面台がグレードアップ!



ING 屋外の散水後もスッキリ!



RY 水栓と防水パンが一緒に!



好評販売中!!
 給水給湯樹脂管用継手
KISC
 あらゆる樹脂パイプに
 完全ワンタッチ接続



創業や経営革新に
 取り組みあなただを
 応援します

自由に手に取ってご覧下さい

3月号

March2012

今月の表紙

鹿児島県経営品質賞

『知事賞大賞』

株式会社九州タブチ

代表取締役社長

鶴ヶ野 未央



知事賞「大賞」受賞記念撮影

<企業概要>

所在地：霧島市国分敷根120番地

設立：昭和45年

従業員数：178名

TEL：0995-45-1523

FAX：0995-45-6433



受賞のスピーチをする桑野会長

今月の表紙は、『平成23年度鹿児島県経営品質賞』の表彰制度創設以来、初の知事賞「大賞」を受賞された「株式会社九州タブチ」代表取締役社長 鶴ヶ野未央 さんです。同社は、給水システム商品の製造会社として、銅合金の製造から機械加工、表面処理、検査・組立に至るまでの一貫した生産工程を有しています。さらに、三〇〇〇品目にも及ぶ製品の変種変量・少量多品種生産にも柔軟に対応できる体制を整え、銅合金製造分野としては日本屈指の生産量を誇り、生産技術力においても、制作から品質検証までのスピーディかつハイレベルな技術は業界トップクラスです。

また、自主・自立の社風を掲げ、社員による生産品質向上への取組に対し全社を挙げたサポートを展開しており、「自主研活動」等を通して、組織の壁を越えた理想的協働環境を創出するとともに、社内活動や社会貢献活動への積極的参加を通じて社員の意識改革を促す等、人



給設課のみなさん

材育成に注力してきました。これまでの社員一人ひとりの絶ゆまぬ活動により、顧客・社員の満足度向上と財務体質の改善向上が高く評価され、全国企業品質賞受賞をはじめ、平成20年より2年連続で九州IE大会に出場、最優秀事例として全国大会出場を果たすなど、地域のモデル企業に位置付けられ、今回の受賞にいたしました。

さらに本年2月には、生産革命を実現させた人材を対象とする第4回ものづくり日本大賞「製造・生産部門」で、同社社員が本県初の優秀賞にも選出されました。

CONTENTS

- 2 今月の表紙
- 3 この人に聞く！
- 4 第9回かごしま産業技術賞受賞者を決定
- 6 翔け世界へ 第3回製造業海外販路開拓支援セミナー
- 8 女性経営者登場！
- 9 かごしまものづくり郷中塾を開催しました
- 10 ベンチャープラザコーナー ⑦、⑧
- 12 お役立ち情報 IT支援企業紹介
- 14 鹿児島県工業技術センター紹介 ⑤
- 15 Information

「鹿児島県経営品質賞」とは日本生産性本部が実施する日本経営品質賞の地域版。卓越した経営の仕組みを持つ企業を表彰する。経営者のリーダーシップ、社会との調和、社員や顧客の満足度などを指標に、同本部や県内外の経済・金融関係者らが審査・判定し、千点満点で500点超に知事賞が贈られる。

この人に聞く!

「鹿児島ブランド」 で市場創出を



鹿児島県経営者協会

ながやま ありのり

会長 永山 在紀

プロフィール

鹿児島市出身。一橋大学卒業。
平成14年4月から鹿児島県経営者協会副会長、平成21年4月より現職。
(南国殖産(株)代表取締役社長)

3月12日に開業した九州新幹線は乗降客数、県外宿泊客が前年を大きく上回り、鹿児島に昨年、予想以上の経済波及効果をもたらしました。

しかし、政府の経済見通しによると、12年度の日本のGDP成長率は実質2.2%増であるのに対し、鹿児島県の経済成長率は0.4%とかなりプラス成長の予想が民間調査機関から発表された。これは全線開業効果が一巡する事、公共事業費の削減、人口減に伴う県内経済の縮小等を勘案しての予測なのかもしれない。

2010年の国勢調査によると、鹿児島は人口減少に歯止めが掛からない現状になっている。人口が減っていく地方では経済は縮小せざるを得ないという「人口宿命論」を唱えるエコノミストもいますが、それは間違いであり創意工夫(イノベーション)や規制緩和等によって市場は拡大し、経済成長は可能なのです。

我々鹿児島が成長していく為には創意工夫が必要で、その為には農林水産畜産業、観光業、焼酎業等の分野で「鹿児島ブランド」を今迄以上に確立し、県外市場に浸透させ、需要を創出していく必要があります。確かに官民一体となって薩摩焼酎、かごしま黒豚、かごしま黒牛、お茶、又、指宿、霧島、桜島、屋久島等、全国的にブランドとして浸透してきているが、まだまだ、鹿児島には農水産畜産物の中で、他県に負けない上位シェアの品目は数多くあるのに、十分な需要を創出できないまま、成長のチャンスを逸しているのではないのでしょうか。

経済は生産サイドからみて「労働力人口の増加」「資本投下」「生産性向上」の3要素によって成長するが、鹿児島の場合、人口増加は望めないなので「資本投下」と「生産性向上」で引き上げていかねばならない。その為には既存の産業に依存するだけでは活力が出てこないの、新たな分野での需要創出が必要となる。鹿児島ならではの

- ① 安心・安全を伴った食料供給システム
- ② 21世紀にあった街づくり
- ③ 医療・介護・健康分野
- ④ 環境・エネルギー分野
- ⑤ 観光産業分野

等、新たな市場を創造し、供給力を引き出していく事が重要である。

鹿児島ブランドを更に全国的なブランドにしていく為には、東京、大阪などの大消費地で認知度アップしていく必要があるが、我々県民一人ひとりが鹿児島ブランドを大切に育成していく取組と気概が、今、まさに求められている。

第9回かごしま産業技術賞 受賞者を決定



丹下副知事のあいさつ

県内の中小企業等が開発した新製品・新技術のうち、特に優れたものを表彰することによって、地域企業等の研究開発を一層促進するとともに、県民の技術開発に対する関心を高め、県地域産業の技術の高度化及び活性化を図ることを目的に、かごしま産業支援センターが3年毎に実施している「かごしま産業技術賞」の受賞者を決定しました。最近3年間に開発された新製品・新技術について31件の応募がありました。

選定に当たっては、技術的評価、経済的評価、波及効果等の観点から第三者による厳正な審査を行い、最終的に大賞1件、奨励賞1件、特別賞2件を決定しました。



受賞者の皆様

授賞式及び受賞者企業の記念講演が平成24年2月8日に鹿児島市のホテルで行われ、受賞されたものについて紹介します。

製品概要

100個を超えるLED素子を独自放熱設計により基板実装し、単一光源でLED業界トップの大光量面発光源を実現しました。LED照明であるので、省エネ効果が高く、ナイター照明灯や天井灯などに採用されております。

<企業概要>

所在地：出水市高尾野町
唐笠木1817-1

TEL：0996-82-5110

FAX：0996-82-5188

URL：http://www.emc-kowa.jp/

E-mail：kowa_kagosi@mua.biglobe.ne.jp



代表取締役 藤井 敏 氏

大賞
交和電気産業株式会社
「大光量面発光源
LED照明」



代表取締役 福元 茂 氏

奨励賞
株式会社福元技研
「防疫効果と遮熱効果を
有する新規塗布剤」



交和電気産業(株)の展示コーナー



(株) 福元技研の展示コーナー

製品概要

消石灰を特殊な樹脂に封じ込めながら樹脂表面に滲出させることにより、抗菌・抗ウイルス性能を持つ防疫用塗布剤に遮熱効果も加えた塗布剤を開発しました。畜産県である本県にとって防疫面での有効利用が見込まれます。

<企業概要>

所在地：鹿児島市郡山町2571-1

TEL：099-298-2780

FAX：050-3156-2806

URL：<http://www.fukumotogiken.jp/>

E-mail：info@fukumotogiken.jp

製品概要

脂に覆われた牛の大腸を紐状にして、更に切開し、腸管についた脂を連続して取り、作業効率化を図った装置を開発しました。畜産県である本県にとって貢献が期待されます。

<企業概要>

所在地：曾於市末吉町
南之郷3050-6

TEL：0986-76-0018

FAX：0986-76-2729

URL：<http://www.matoya.com/>

E-mail：info@matoya.com



代表取締役 益留 福一 氏

特別賞
マトヤ技研工業株式会社
「牛用大腸切開・
脂取り機」



代表取締役 保 照光 氏

特別賞
株式会社ロスフィー
「フラクタルひよけ」



マトヤ技研工業(株)の展示コーナー

製品概要

自然幾何学であるフラクタル理論を用いることで、木漏れ日のような緑陰を作りながら自熱を発散し、風圧力にも耐える三次元構造をもつひよけを開発しました。デザイン性の評価も高く、省エネ効果が期待されます。

<企業概要>

所在地：鹿児島市紫原
4丁目32-12

TEL：099-259-5555

FAX：099-251-9546

URL：<http://www.losfee.jp/>

E-mail：mail@losfee.jp



(株) ロスフィーの展示コーナー

第三回

製造業海外販路開拓支援セミナー

製造業海外販路開拓支援事業

海外展開を図ろうとする県内の製造業者を対象に、海外市場動向等に係るセミナーの開催や海外商談会への出展支援、専門家の派遣等を実施し、新たな海外販路の開拓を支援する事業です。今回のセミナーはその集大成として開催いたしました。

1. 講演

中小企業のアジア地域における販路開拓について

(独) 中小企業基盤整備機構
シニアマネージャー 藤池 滋 氏

永年商社に勤務し海外との貿易経験豊富。現地法人設立から様々な困難を乗り越え、経営を安定化させた実績を下に、企業が海外へ販路拡大する為のポイントを講演いただいた。

① 一次情報、専門誌、インターネット、売買先、銀行、公的機関等あらゆる手段を講じて情報入手。



藤池 滋 氏



弓場 秋信 氏

② 二次情報、現地顧客の産業財、消費財及び海外展示会出展による企業マーケティング情報

ポイント

○ 小さく産んで大きく育てる(初期投資は抑える。レンタル工場からスタート)

○ 競争力のある得意分野で勝負

○ 現地に行つて「生の声を聞くこと」

○ 何・誰をターゲットとするのか明確にする。

2. 事例発表

(1) 海外商談会への出展報告

弓場 秋信 氏(弓場貿易社長)より概要説明と(株)ハマ製作所の出展状況について代理説明がありました。

① 台北国際エレクトロニクス見本市

平成23年10月10日〜13日

今回の見本市は、出展企業80社、1450ブース、海外バイヤー3500人と盛大に実施

(株) ハマ製作所

展示品名…4軸制御ゲートカットロボット

(株)ハマ製作所の浜口社長

は、昭和33年日本のモノづくりで有名な東京大田区で創業、平成3年故郷坊の津に鹿児島工場を設立。今回はレンズのバリ取り仕上げ加工する自動ゲートカットロボットを展示し、商談件数42件あり、8000万円の商談もまとまった。

(株) 東郷

生産技術課リーダー 東 真輝 氏

展示品名…精密金型部品

鹿児島発「小型人工衛星Kサミット」の開発プロジェクトに参加した「超精密モノづくり」の技術を活かして、鹿児島から世界へ発進。同社の金型は、30ミクロン単位で精度、信頼性とも非常に高く、展示会では、今後為替相場の波を乗り切る企業体制を組むため

今年、タイ工場開設準備中。

② 中国国際工業博覧会

平成23年11月1日〜11月5日

(株) 南光

第1開発部 係長 後藤 祐介 氏

展示品名…ME・Xチェンジャー「モノづくりを通じて地域の発展に貢献」

特に、中国での環境破壊が進む中、河川、大気汚染、CO2削減、公害防止を目的とした植物性廃油代替燃料変換装置は、上海工業博覧会で大好評にて商談12件中6件の成約見込み。世界遺産の屋久島でも利用されエコ、リサイクル時代のヒット商品へ進化中。

(株) トヨタ車体研究所

技術部 松原 鶴千 氏

展示品名…塗装廃液シラス浄化装置

鹿児島で災害を引き起こす「シラス」を凝集材として活用した「塗装廃液シラス浄化装置」は中国でも人気。工業博で1200人以上の来場があり、多くの商社及びメーカーが興味を示した。現在、中国では重金属処理が問題になっており、将来、莫大なマーケット需要が見込める商品となる可能性が大である。

(2) 鹿県三工業会（機械製造・精密板金・金型治工具）ベトナム研修視察報告

平成23年11月21日～11月26日

(株) 藤田ワックス

工場長 高佐 春夫 氏

「平均年齢27.8歳」「女性パワー」
「平均月収96000円」の共産主義国ベトナム

平均年齢50歳の参加者には、ミッドナイトプレンのトランジットは体に堪え、更なるハードスケジュールであったが、「有意義な6日間」との感想。（12企業訪問・4回のブリーフィング実施）

○高品質の航空機産業の三菱重工において、熟練された職人の技を拝見。

○中国同様、雇用問題（労働管理）をトップの強烈なリーダーシップにより日本人経営の「ヒト中心の経営」を実践している荻野工業。

○「鹿児島のパイオニア」として二年前にハノイの隣バクザン省に進出し、今年工場を更に5倍の1万平米に拡大中の九州新城飯屋氏にはベトナム情報満載の二日間をアテンドいただき感謝です。

ITMは、日本の習慣を徹底して教育している。世界中から注目される魅力ある市場であるが、モノづくりの最低賃金は、昨年2回アップ。単純作業のワーカーを求めるのには良い国ではあるが、ベトナムに限らず

グローバルセンスを磨くことが必要。（9企業14名参加）

(3) 中国上海・江蘇省研修視察報告（第2回製造業海外販路開拓支援セミナー）

平成23年10月31日～11月5日

(株) トヨタ車体研究所

技術部 大脇 康博 氏

中国は、もはや「昔」の中国ではない。生き馬の目を抜く「スピード」と5億人はインターネット化した高度な情報社会。新幹線等のインフラも拡大。「高速道路」も長さではアメリカを抜く勢い。

今回の研修視察は県・支援センター主催で、上海工業博及び江蘇



大脇 康博 氏



高佐 春夫氏



田中 薫 氏



個別相談会



中国視察研修
上海国際博覧会会場にて

省の昆山・蘇州・常熟・南京の9企業及び4省市・3工業区を訪問し、大歓迎を受けた。

GDPは、「地域ごと」に大きく違い15%の賃金上昇率により進出企業は生き残るためには「走りながら考え、必要に応じて軌道修正、常に次のビジネスを模索し、稼げるときに一気に稼ぎ、低迷したら次の手を投入」とアルバック総経理の談。

常熟市は、鑑真和上が坊津に仏教を伝えた事により、薩摩川内市と20年前に友好都市締結。日系企業の「こんには運動」「常熟ギネス（賞金・賞状）」「3・3・3研修」は生産効率アップ策としてユニークなものであった。参加企業にとつては今後中国販路拡大に向けて有意義な研修視察であった由。「今後同行した県及び支援センターのチカラを借りて計画を進めていきたい」との談。（5企業8名参加）

(4) 企業と留学生交流セミナー事業の取組について

NPO法人

ネイチャリング・プロジェクト

コーディネーター 田中 薫 氏

昨年、2回のセミナーを開催。講師は九州で国際化戦略で飛躍を遂げている(株)八ちゃん堂と本多機工(株)の両社長及び県の日本有機(株)川崎会長。講師の話は、「いずれも優秀な海外留学生を採用することにより、海外との人材ネットワークが形成され海外取引販路拡大が促進された。また、商習慣や嗜好性の違う外国人と仕事を共有することによるソーシャルイノベーションに大きく寄与した。」との熱弁。

参加企業の声として、「企業発展のために海外人材は発想、創造性が特異で刺激となり今後Key Personとなり社内新しい風を吹き込めるのでは。」とのこと。鹿大、鹿国際大の留学生からは、「県内には高い技術を持った企業があり、将来県内企業に就職したい」という希望がある。



ベトナム視察研修
ハノイITMにて

女性経営者

登場!

「若い女子力で最高の仕事を創造する」



株式会社ドゥーイット
もとべえりか
代表取締役 本部映利香

鹿児島県始良市宮島町14-9

Tel 0995-55-6055

Fax 050-3339-3988

URL <http://www.doitinc.com>

E-mail thanks@doitinc.com

「夢は紙に書く」と叶う」

中学2年生の14歳のとき。当時、樟南高校の校長であった時任克鴨氏の講演でそれまで夢がなかった自分が人生で初めて自分の夢を考えたと。一つ目、「バスガイドになること」。二つ目、「先生になること」。三つ目、「旅行会社に務めること」。四つ目、「社長になること」。五つ目、「有名になること」。結論は全てを実現し叶えることが出来た。

「なぜに16歳からの起業だったのか?」

生まれながらに商売人の3人兄弟の長女として誕生した本部。その当時は何でも売れた時代からバブルが崩壊し、売れない時代へ。そんなときに祖父の金物屋の会社が倒産。高校生だった時の経験はさまざまに人を変え、もともと金物屋店でも商売のイロハを知っていたのだが、実際に社会はそんなに甘くない。時代は就職氷河期でもあるこんな時代に就職もろくにない。毎日の生活は逼迫し、人生最大の貧乏のどん底に陥る生活。そんな中、学校の生徒手帳をたまたま見たときに「アルバイト禁止」。社長禁止とは書かれていない。雇用されるのが禁止なら自分で稼ごうと決意。学校から帰ってきたらスーツに着替えて、口紅を塗り、バイクにまたがって香典返礼品の営業へ。もちろんノウハウなんてものはない。感覚で相手が喜ぶことを常に考え続け、自身で起業しながら商

売感覚を身につける。



セミナー状況

「最高の仕事を創造したい」

不景気といわれ、また平成23年3月11日の東日本大震災や各地での天災に見舞われる時代。そんな中、常に考え続けていること。「仕事がなければ人が求めるような最高と思われれば仕事を創造すればいい。」そんな心意気で毎日を奮闘。平成23年1月から福島県の会津地方で会津オフィスを立ち上げ、新規事業を拡大しようと思った矢先、3月11日の大震災に見舞われ、自身も大震災を体験。東京で帰宅難民となり自宅がある鹿児島へ帰れない状況。そんな中で当然福島のことも気になり、自身の生活の不安を感じる。だがその不安は一瞬で払拭し、地域に必要とされる会社、仕事であるという設立当初からの理念に基づき震災直後の余震が続く中でも鹿児島から月に1週間、10日程度福島県へ出張。一時は事業を続けることが大変なのでは?と周囲から心配もされたが、自身は放射能や地震の心配よりも、必要とされる事業を

行うことが私の使命と感じ事業継続。現在では15年以上の経営ノウハウと関わった一次産業、五次産業までの約40種以上の役員や事業展開に携わり、これまで鹿児島県、福島県までの六次産業化、農商工連携、経営革新や売上集客のコンサルティング等の指導を行いながら講演活動も年間70回以上を超えるまでに。

「三方良し」の精神で、誰も困らない事業経営のノウハウとキャラクターで地域や社会に必要とされる事業展開を行う。

自身は1児のシングルマザーでありながら、働く女性として自立できる人間形成や支援を行い、様々な視点で物事を解決するビジネスプロデューサーでもある。

「今ある困難や課題をギフトととらえるか、重荷ととらえるか」その考え方の違いや行動で道は開けていけると思う。



相談対応状況

ものづくり維新！

平成23年度「かごしまものづくり郷中塾」を開催しました！

県では、本県の製造業振興の方向性をとりまとめた「かごしま製造業振興方針」を平成23年3月に策定しました。この振興方針では、「産業人材の育成・確保」を掲げており、その施策の一つとして、「かごしまものづくり郷中塾」を今年度開催いたしました。

郷中塾では、指導者と塾生たちが業種や地域を越えて交流を行うカリキュラムを通じて、日本の未来・鹿児島の未来を自分たちが担っていくのだという産業人の精神性を高め、実践・実行につなげていくことを念頭に、一年間取り組んでまいりました。

【事業コンセプト】

- ・ 変革の時代を生き抜く力と新しいビジネスモデルを創出する力を身に付けた人材の育成

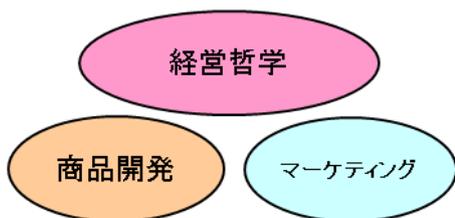
【取り組みの背景】

- ・ 中小企業の後継者育成が喫緊の課題であること
- ・ 目的意識を持った異業種のネットワークによる情報交換・刺激や競争、連携が新事業展開に有効であること

【対象】

概ね45才までの経営者、後継者、経営幹部の方々など

【カリキュラム】



平成23年度は主に合宿形式で全6回開催。うち海外視察（上海・無錫）1回、県外の経営者との交流1回（北海道で開催された若手経営者塾全国大会に参加）

【研修内容】

- ・ 国内、海外事情変化への洞察、変革の時代のリーダーの役割
- ・ 県内外の異業種、同業種との交流
- ・ 商品開発・マーケティングの基礎、事業戦略策定演習
- ・ 商品開発実践（選択） など



塾頭 関満博氏

一橋大学名誉教授
明星大学経済学部教授
地域経済総合研修所評議員
現場主義を標榜し、全国各地の塾で中小企業の若手経営者にエールを送っている。



（講義）



（上海の日系企業視察）



（商品開発例）



（大島紬を使ったベビー用品開発）

【参加者の感想】

- ・ 経営とリーダーシップ、商品開発のプロセス、マーケティングに関する手法などを学ぶことができた。塾生による異業種ネットワークも大きな財産となった。
- ・ 全国の経営者との交流では、熱い思いで若手経営者塾に参加している方々と知り合うことができた。企業経営をしていく上では、多くの苦しみや喜びがあるが、それらの体験を語り合える仲間がいるということは非常に心強いものだと感じた。

【平成24年度事業のご案内】

平成24年度は、本塾を更に発展させ、鹿児島の産業を担う若手経営者を対象に「産業おこし郷中塾」を開催する予定です。平成24年3月～4月に募集を開始する予定ですので、ぜひご参加ください。

黒糖もろみエキス配合 「あま肌」の販路拡大

株式会社アマミファクション研究所

代表取締役 吉川 卓伸

奄美市名瀬朝戸269-3

TEL:0997-54-9181

FAX:0997-54-9182

E-mail: amami@luc-group.co.jp

http://www.facebook.com/amami.AMAHADA



挨拶する吉川社長

ベンチャープラザ
コーナー 74
第49回ベンチャープラザ

発表内容

〈企業紹介〉

弊社は奄美市の誘致企業で、奄美発にこだわった繊維製品の研究開発、製造販売を行っております。

近年は、天然染色において蓄積された天然物質の抽出技術をもとに「美と健康」をテーマに奄美の地域資源を用いた機能性化粧品や機能性食品の研究開発を行っております。

〈商品開発のきっかけ〉

奄美の代表的な特産品である「黒糖焼酎」は、数年前からの焼酎ブームによる市場拡大に伴って生産量が増大し、製造時に発生する焼酎粕の処理が地域の環境問題として注目されるようになりました。

この課題解決のため、奄美市より産官学の専門家による「未利用資源活用委員会」が発足、弊社も参画し、平成18年度に九州経済産業局より「地域新生コンソーシアム研究開発事業」の採択を受け、黒糖焼酎粕を活用した化粧品の研究開発に着手しました。

〈商品の目的・特徴〉

あま肌に配合されている「黒糖もろみエキス」は、黒糖焼酎粕（もろみ）から、ポリフェノール等の機能性成分を抽出したエキスで、共同研究した鹿児島大学農学部・藤井教授（現名誉教授）、鹿児島純心女子大学・中野教授らにより、肌のシミの原因となるメラニン色素の生成を抑える機能が発見されました。また、人体に対する負担もほとん

どなく、極めて安全な成分であることがわかりました。

この様な研究成果については、学会等でも発表しており注目を集めております。

商品化については（財）かごしま産業支援センターの販路開拓助成事業を活用し、福岡のフラウ主婦生活総合研究所にマーケティング調査を委託しました。20代〜40代の、一般女性から募集したモニターによる調査を行い、肌刺激や色・におい・使用感・容器の使い易さ・価格など多方面に調査・評価を行い、幾度にも改良を重ねた結果、黒糖もろみエキス以外の成分についても徹底的にこだわった、無添加の高機能化粧品開発に成功しました。

また、ボトルのデザインについては、北海道帯広でデザインによる地域興しの実績がある「NPOあうる



黒糖もろみエキス配合「あま肌」

ず」に依頼し、お客様に手にとっていただけるよう工夫いたしました。

現在は通販を主体に販売しております、ほとんど広告はしていませんが、口コミなどを中心に徐々に販売数を伸ばしており、今まで市販の化粧品が合わなかった敏感肌の方や、乾燥肌の方などから好評を得ており、ご購入いただいた方の多くにリピーターになっていただいております。

発表後の成果・感想

この度は、多くの方にあま肌をご紹介させていただく機会を頂き、ありがとうございます。

質疑では、SNSによるブランディングの提案など今後の販売戦略についてのアドバイスも頂き貴重な経験となりました。（facebookに専用ページを設けました。）

また、発表を聞いていただいた数社の方と後日、商談する機会を得ました。

今後の展望

10月に行われた「2011かごしまの新特産品コンクール」において奨励賞をいただきました。

賞の名に恥じぬよう、今後とも販路開拓に努めて、鹿児島奄美から全国に発信できる商品を目指します。



技術責任者 外室 敬介氏

画像検査装置及び 関連技術の御紹介

アロン電機株式会社

代表取締役 坂元 剛

薩摩郡さつま町永野950番地

TEL:0996-58-0331

FAX:0996-58-0365

E-mail: hokamuro@aron.co.jp

http://www.aron.co.jp/

発表内容

〈企業紹介〉

当社は接点の加工メーカーとして1971年に創業いたしました。現在はその技術を発展させ、金型治工具及び自動機の製作を中心として、お客様にとつてかけがえのない企業となるよう前進しております。

〈商品開発のきっかけ〉

九州圏内の大手焼酎メーカー各社様より、目視で行っている焼酎液中の異物検査を自動化したい、検査装置を導入しているが価格が高い、検査精度が低い、疑似不良が多く再検査が頻発する、既存の検査装置メーカーはサポートコストが高い事に加え中々来てくれない、などの様々な不満の声を数多くお聞きしておりました。そこで、自社の画像検査技術と自動機技術を用いてこれら全ての課題を解決し、「焼酎の本場である九州の地域社会に少しでも貢献できる商品をご提供したい」という強い思いで本開発に着手致しました。

〈商品の目的・特徴〉

本商品は、特殊照明や高感度カメラを用いて高速自動搬送中のビン内の液中異物を画像検出し、それらの検出データをソフトウェアを駆使して数値化・定量化する事で、液中異物と泡や傷などの疑似不良を精度良く識別する機能を持ったビン内の液中異物検査装置です。

酒造メーカーや飲料水メーカーの様々なガラス瓶やプラスチック容器の液中異物検査装置として使用される事で、異物混入による不良品の流出防止、

生産性向上及び検査コスト低減などを実現します。更に、PCへ格納された取得データはSPC手法(SPC: Statistical Process control)により統計分析されて、生産ラインの危険予知、異常工程の特定、および清掃やメンテナンスの適正化のため有効に用いられます。尚、磨りガラスビン、光を透過しないビン・容器及び表面に著しく凹凸のあるビン・容器以外は基本的に全て検査可能です。

具体的な検査原理は、高速で搬送されるビンを回転させ液中の異物を拡散させた後に超音波脱泡処理(特許申請中)を施し、疑似不良の原因となる残留気泡を低減させる。その後ビンに追従して移動する特殊照明と高感度カメラにより液中を複数回撮像し、それらの画像の差異を詳細比較するというものです。この際、独自の異物選別アルゴリズムとソフトウェアにより本物の異物と傷・気泡等の疑似不良とを精度良く識別し、初期設定された大きさや個数に関する検査基準と比較する事で商品の良否判断を行います(不良と判断されたビンは自動排出されます)。また、価格(他社比で約30%ダウン)、検査精度(0.05mm以上を検出)、擬



似不良率(0.01%以下)のいずれにおいても競合他社を圧倒しており、前述した顧客要求に十分応えられるものとなっております。

発表後の成果・感想

「すばらしい商品なので応用分野への展開も含め多くの可能性がある」、「鹿児島県にこのような高度な技術を持つている企業があつて頼もしい」などのありがたいお言葉をたくさん頂き、関係者一同大変うれしく思っております。

今後の展望

現在は焼酎メーカー、飲料水メーカーを中心に販売活動を行っていますが、今後はより大きな市場を持つ金属切削加工用チップやドリル・エンドミルの外観検査なども視野に入れた開発・販売活動を展開して参ります。



液中異物検査装置

IT 支援
企業紹介

今月号も前号と同様、EC（電子商取引）コーデイネーター、マーケティングコーデイネーターによる支援事例をご紹介します。

若松農園

売上向上につながる
ホームページの改善の相談

喜界島という地理的条件の不利を解消するため、販路開拓の一つとして平成20年に若松洋介専務がホームページによる販売とブログによる情報発信を開始しました。ホームページは制作者に依頼せず、「ホームページビルダー」というホームページ制作ソフトを独学しての自社制作です。日記風のブログは既存の無料サービスブログを利用しています。その後、既存顧客へのダイレクトメールで周知を徹底した結果、パイナップルは4000個完売を達成し、新規顧客も順調に増加しました。

しかし、独学でホームページ制作を

進めていたこともあり、さらなる売上向上、広報につながるホームページに発展させたいとの思いから、改善すべき点があればアドバイスを欲しいと平成22年に相談がありました。

■アドバイス内容

ホームページやネットショップの運用の基本は大きく分けて次の2つです。

- 1 新鮮な多くの情報を顧客に発信すること
- 2 訪問者の数や動向を分析し、今後の情報発信に活用すること

一つ目の「新鮮な多くの情報を顧客に発信すること」については、ブログによってパイナップルの生育情報などをすでに発信しており、顧客に対して安心感・信頼感を持ってもらえるものであったので、次の項目についてアドバイスをを行いました。



若松農園のホームページ

- ・ブログに会社の住所・連絡先などの基本情報が記載されていないこと
- ・パイナップルの販売が近づいている時期になっても販売開始時期などのお知らせがないこと
- ・商品の説明の文章量が少ないこと

と
全体的に情報の量が不足気味であること

特に商品説明のページは、文章や写真、動画などを用いて生産者のこだわりを顧客に直接伝えることができる重要な部分ですので、商品の付加価値を高め、競争力を上げるためにも改善を勧めました。

二つ目の「訪問者の数や動向分析」については、これらを行うための「アクセス解析ツール」が導入されていないため、導入を提案しました。

分析で重要なことは、「具体的な数値での現状把握」と「情報発信に対する顧客の反応の確認」です。

例えば、訪問のきっかけは検索サイトなのか、他のホームページからなのか、どのページを一番見てもらっているのか、売り出しのページの閲覧時間が十分に長いのか、どのページで離れてしまっているのか、これらに注目して分析していきま

■アドバイスの成果

提案した改善点に対応してもらい、アクセス解析による分析も継続

して実施しています。パイナップル販売は毎年完売が続いており、リピーターからの電話や葉書、FAX注文もあります。ホームページによる新規顧客獲得が毎年一定数以上できていくとのこと

また、新たな取組としてパイナップルの有機栽培に取り組んでおり、これまでよりも収穫数が少し落ちるものの、より質の高い農作物や付加価値の高い農作物を生産する事で顧客の要望に応え続けられるようにしたいと意欲的でした。

このような取組を顧客に対して直接情報発信し、生産過程まで伝達できるホームページは重要なツールであると考えておられ、特に離島にとつてホームページは欠かせない道具であるとのことでした。

企業名	若松農園株式会社
代表者	若松 美雄
業務内容	パイナップル、テンパイなどの生産、販売
所在地	大島郡喜界町湾9795
電話	0997-55-3180
FAX	0997-65-1397
ホームページ	http://www.midorisango.jp/



能野焼窯元 福元陶苑のホームページ

よきのやき
能野焼窯元
福元陶苑

ブログとホームページの
更新の相談

情報発信を目的として数年前にホームページを開設されていました。ホームページは、制作ソフトである「ホームページビルダー」を用いて独学で作成したものの、普段の仕事が忙しくなかなか更新できなかったとのことです。

ブログならば簡単に更新できるとの知人の薦めで始めましたが、投稿する時間が思うようにとれず、情報が古いまま残ってしまっていました。そのため、心機一転してホームページをリニューアルすることにしました。独学で進めていたこともあり不明な点も多く、西之表市商工会に問い合わせたところ、本事業を紹介され、相談がありました。

■ブログの更新について

ブログは、これまでのホームページと異なり簡単に情報発信できる手軽さから、個人の日記を中心に広がりました。しかし「簡単」とはいってもパソコンの操作に困難を感じたり、手間もかかるため、ブログ更新を長期間継続できる人は多くありません。

そこで、普段よく使っている携帯電話のメール機能を用いてブログを更新する方法を勧めました。家族や友達にメールを送信するように、メール送信でブログを更新することができます。また、携帯電話にはカメラ機能も付属しているので、これまでのように別途デジタルカメラで撮影してパソコンに接続するなどの手間も省けます。

メールでブログを更新する設定については、パソコンからブログの設

定を行う必要があるため、どのような設定すれば良いのかアドバイスをしながら設定してもらいました。

■ホームページの更新について

ヒアリングを行ったところ、制作ソフトの使い方よりも、基本的なパソコンの操作に不慣れな部分があったり、どのようなホームページを作るのか全体構成が決まっていなかったりするという理由で、作成を難しく感じているということでした。

このため、まずは他の窯元などのホームページを参考に、どのようなホームページにしたいのか、全体のイメージや構成を練ってもらうことにしました。このときはパソコンを使わずに、ノートと鉛筆でラフスケッチのよう書いてもらい、構成を少しずつ形にしていきました。

その後、制作ソフトを使ってホームページのリニューアル作業を進め、ホームページのレイアウト方法や、画像の作成・編集、公開の手順などの説明を行いました。

同時に、基本的なパソコンの操作についても説明を行いました。手順だけを覚えるのではなく、パソコンの画面上に出ているメニューや、項目、表示などを必ず読んで把握しながら操作することに注意して操作してもらいました。

■アドバイスの成果

ブログの更新については、普段持ち歩いている携帯電話から更新することができるようになったため、完成した陶芸作品の写真や日常ふと気がついたことを、時間や場所を問わず気軽にブログに掲載できるようになったとのことです。

ホームページのリニューアル作業は2年近く要しましたが、無事完成し、公開に至りました。作成しなからより良いものを作ろうと工夫を重ね、ページ数も次第に増えていきました。また、アドバイス内容を一冊のノートにメモをとりながら、分からないところは振り返って確認するなど、少しずつ、着実に制作を進めることができました。

今後は写真のスライドショーなどを取り入れるなど、さらに充実させていきたいとのことでした。

企業名	能野焼窯元 福元陶苑
代表者	福元 秀義
業務内容	能野焼の窯元
所在地	西之表市住吉710
電話	0997-23-1410
FAX	0997-23-1410
ホームページ	http://www12.ocn.ne.jp/~yokino/

鹿児島県工業技術センター紹介 ⑤

県内企業の「技術的切りどころ」

県工業技術センター

第5回目の今回は共同研究や受託研究・公募提案型研究とその成果などについて紹介します。

1 研究開発

当センターでは経常研究のほか県内の企業と共同研究を行っています。研究目的が当センターの研究と概ね一致し、産業振興上有益であると認められた場合、契約を交わします。費用は消耗品など一部有料となります。

また、経済産業省や文部科学省などの国の機関やその他外部団体から受託研究や公募提案型研究開発事業も積極的に行っています。最近の件数は表1のとおりです。

2 研究成果

研究成果として試作されている製品を紹介しします。製造ラインの静電気発生箇所や検出場所を特定できる静電気発生箇所検出装置(写真1)や、病院・介護施設などで患者がベットから離れる際の事故を低減させる離床ベット予測システム(写真2)があります。また、焼酎製造

	H21年度	H22年度	H23年度
経常研究	22	27	25
共同研究	17	10	17
受託研究	2	2	5
公募提案型研究	8	5	13

(表1) 共同研究・受託研究・公募提案型研究の件数(件)



霧島市隼人町小田1445-1
電話：0995-43-5111
F A X：0995-64-2111



(写真3) 焼酎原料用サツマイモの簡易デンプン価測定装置



(写真2) 離床ベット予測システム



(写真1) 静電気発生箇所検出装置

3 実用化と商品化

研究成果としてさらに実用化・商品化されたものもあります。長寿命化した鍛造工具(写真4)はネジ製造現場で実用化され、工具の寿命が3.7倍(加工数24,000回↓90,000回)に伸び、コスト削減に大きく寄与しました。この研究は、平成23年度九州・沖縄地域公設試&産総研・合同成果発表会において優秀賞も受賞しました。

シラス(火山噴出物)関連では、粒径を揃えた整粒シラスが洗顔料製品に使用され、たいへん好評です(写真5)。また、奄美群島には昔、女性が手の甲に入墨を施す針突(ハズキ)の習慣があり、その針突文様の図形化と用途展開を図りました。現在、奄美大島で針突ストラップなどの商品として販売されています(写真6)。

今後、県内企業の要望に応えながら研究開発を行ってまいりますので、お気軽にご相談下さい。

(工業技術センター)

0995-43-5111



(写真6) 針突(ハズキ)文様ストラップ



(写真5) シラス洗顔料



(写真4) 長寿命化した鍛造工具(従来工具より3.7倍の長寿命化)

平成23年度鹿児島県取引情報交換面談会を開催

去る2月7日(火)、鹿児島市内のホテルウェルビューかごしまにおいて、ビジネスマッチング協議会と当センター主催で「平成23年度 鹿児島県取引情報交換面談会」を開催しました。

◆参加企業数

区分	企業数	うち県内企業	参加人数
発注企業	29社	5社	37名
受注企業	57社	57社	93名
合計	86社	62社	130名



面談会風景

この面談会は、鹿児島県中小企業の発注機会の拡大と新規取引先の開拓促進、技術に関する情報交換を図ることを目的として平成4年から開催しており、今回で20回目となります。当日は、新たな外注先を求める発注企業と県内の受注企業が参加し、限られた面談時間の中で活発な商談が行われました。また、受注企業の加工製品や鹿児島県トライアル発注製品の展示、関係機関紹介コーナーを設置するなど、発注企業に対し工業団地や地元企業の開発製品等のPRも行いました。面談会を補完することを目的として開催した交流懇談会には、受発注企業の担当者など約80名が参加し和やかな雰囲気の中、相互の親睦を深め、県内企業同士が情報交換をする様子も見受けられました。

発注企業の中には、面談会の翌日、面談企業を訪問し工場見学をするなど積極的な姿勢も見られ、商談成立の報告もあり今後の進展に期待したいと思います。



面談会風景



製品展示コーナー



交流懇談会風景

取引の紹介・あっせん速報 ～ 平成24年2月末現在

当ビジネス支援課で、平成23年4月1日から平成24年2月末までの取引の紹介、あっせん状況は、次のとおりです。

あっせん紹介件数	成約件数	取引契約成立当初受注金額
214件	51件	13,902千円

新規登録企業御紹介

★ 各企業の希望に応じた取引の紹介・あっせんを円滑に行うために、当センターへの企業登録をお願いしています。登録・取引の紹介・あっせんは、すべて無料です。

登録申込書は、ホームページからダウンロードできます。(<http://www.kric.or.jp>)

★ 今回新たに次の企業から登録の申込みがありましたので、御紹介します。

◆受注企業

登録番号	企業名	所在地	資本金(万円)	従業員(人)	業種	主要製品等
J34373	(株)カミマエ	南さつま市	300	2	一般機械器具製造業	支柱、フランジ、特殊ボルト



新着DVDのご紹介

貸出希望の方は、下記の要領によりお申込みください。



分類	タイトル	テープNo.	収録時間
情報化・コンピュータ	eメールのビジネスマナー	E-1	30分
情報化・コンピュータ	全社で学ぶITセキュリティ	E-2	30分
情報化・コンピュータ	社会人の情報セキュリティ入門	E-3	30分
社員研修	見てわかる新人の心得	E-4	30分
社員研修	見てわかる事務職の心得	E-5	30分
経営者・管理者研修	見てわかる管理職の心得	E-6	30分
社員研修	実践！クレーム対応のすべて	E-7	60分
社員研修	新入社員・ケーススタディ集 あなたならどうする?! 1. 知ったかぶりの仕事では・・・	E-8	10分
社員研修	新入社員・ケーススタディ集 あなたならどうする?! 2. 規則を軽く考えていませんか?	E-9	9分
社員研修	新入社員・ケーススタディ集 あなたならどうする?! 3. チームの一員になるとは	E-10	8分
社員研修	新入社員・ケーススタディ集 あなたならどうする?! 4. ひと言の伝達モレが・・・	E-11	9分
社員研修	新入社員・ケーススタディ集 あなたならどうする?! 5. 要領よく仕事をするととは	E-12	8分
社員研修	会社を変えるのは君たちだ! 1. 〈心構え編〉 自分の人生に責任を持つ!	E-13	22分
社員研修	会社を変えるのは君たちだ! 2. 〈くじめ・マナー編〉 信頼される社会人の条件	E-14	21分
社員研修	会社を変えるのは君たちだ! 3. 〈電話対応編〉 受け方・かけ方のポイント	E-15	26分
社員研修	会社を変えるのは君たちだ! 4. 〈来客・訪問編〉 対応・応接のポイント	E-16	29分
社員研修	仕事の原点 1. 「仕事の心構え」を考える	E-17	21分
社員研修	仕事の原点 2. 「あいさつ」を考える	E-18	16分
社員研修	仕事の原点 3. 「ことばづかい」を考える	E-19	19分
社員研修	仕事の原点 4. 「礼儀・マナー」を考える	E-20	21分
社員研修	仕事の原点 5. 「気配り・心配り」を考える	E-21	20分

※貸出要領

- 【貸出期間・本数】 原則1週間・1回につき5本以内
- 【貸出方法】 当センターでの直接受取。(遠方に限っては郵送可)
- 【貸出手続】 所定の様式に必要事項を明記の上、E-mailでお申込みください。
- 【貸出費用】 無料(郵送での返却の場合、利用者の負担となります)

※他にビデオテープもあります。

詳しくは当センターのホームページのビデオライブラリーをご覧ください。

(<http://www.kric.or.jp/>)

【問合せ・申込み先】 (財)かごしま産業支援センター 情報支援課
 TEL : 099-219-1275 FAX : 099-219-1279
 E-mail : info@po.kric.or.jp



情報KISC 3月号

発行者：財団法人かごしま産業支援センター
 〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館2F

TEL 099-219-1270 (代表)
 FAX 099-219-1279
 E-mail kisc@po.kric.or.jp
 URL <http://www.kric.or.jp>